



▲高松一色の海岸で「宝探し」を楽しむ地元の子どもたち

地域の話題

高松校区

郷土の海を愛する心

人と人が支え合いながら、長年「絆」を深めてきた高松校区。恵まれた自然と生活環境を活かし、地域づくりを進めています。そんな高松校区のコミュニティ協議会から、お便りが届きました。

私

たちの高松校区では、**人と人**
人と自然 絆を育むまちづくり

を将来像に掲げた「高松校区まちづくり推進計画」の実現を目指し、校区コミュニティ協議会を中心とした地域づくりを進めています。今年度は、推進体制の充実のため、コミュニティ協議会の中に6つの専門部会（安全・福祉・スポーツ・環境・青少年・企画文化）を設置しました。現在、各部会を中心に、「防犯パトロール」「スポーツ大会」「清掃活動」「親子学級」などの企画・運営を行っています。

高松フレンドシップデイ

10月2日（土）、校区コミュニティ



▲砂浜の綱引きは気分爽快

協議会の主催で、高松一色海岸において「高松フレンドシップデイ」を開催しました。この行事は、さまざまな理由で地元の海から疎遠になりつつある校区民に、「郷土の海を愛する心」を呼び覚ましてもらうと、環境部会を中心に企画・運営を行ったもので、地元の親子など約250名が参加しました。

予定していたミニ地引網は、海の状態が整わず中止となりましたが、参加者は「ビーチウォーク&ビーチクリーン」「宝探し」「綱

引き」などを楽しみ、久しぶりに訪れた地元の海で歓声を上げていました。また昼食では、役員や地元ボランティアの協力で、朝に捕れた「キスの天ぷら」などが振る舞われ、こちらも大好評でした。

将来に向けて

初の試みだった、このフレンドシップデイ。アンケートでは「高松の海が好きになった」「地区の人との交流ができた」との声が多く聞かれ、成果を実感できました。しかし、安全対策や開催時期などの課題も残りました。これからは、役員だけでなく、校区民の意見や提案を取り入れながら、高松の住民が総参加できるようなイベントを企画・運営できればと考えています。こうした行事を通じ、郷土の海を愛し、自分たちの海は自ら守るという意識が芽生えることを期待しています。

参加者のこえ

海

をきれいにしたくて参加しました。ごみ拾いで海がきれいになり、焼き鳥やスイカなども食べられたので、とても楽しかったです。（小学生男子）

世

界サーフィン大会で有名な海岸ですが、地元の人向けのイベントがないので、良い取り組みだと思います。これからも、高松の人が楽しめるイベントを期待します。（女性）